

注 意 報

各関係機関の長 殿

福岡県病害虫防除所長

平成17年度病害虫発生予察注意報第3号について

このことについて、以下のとおり送付します。

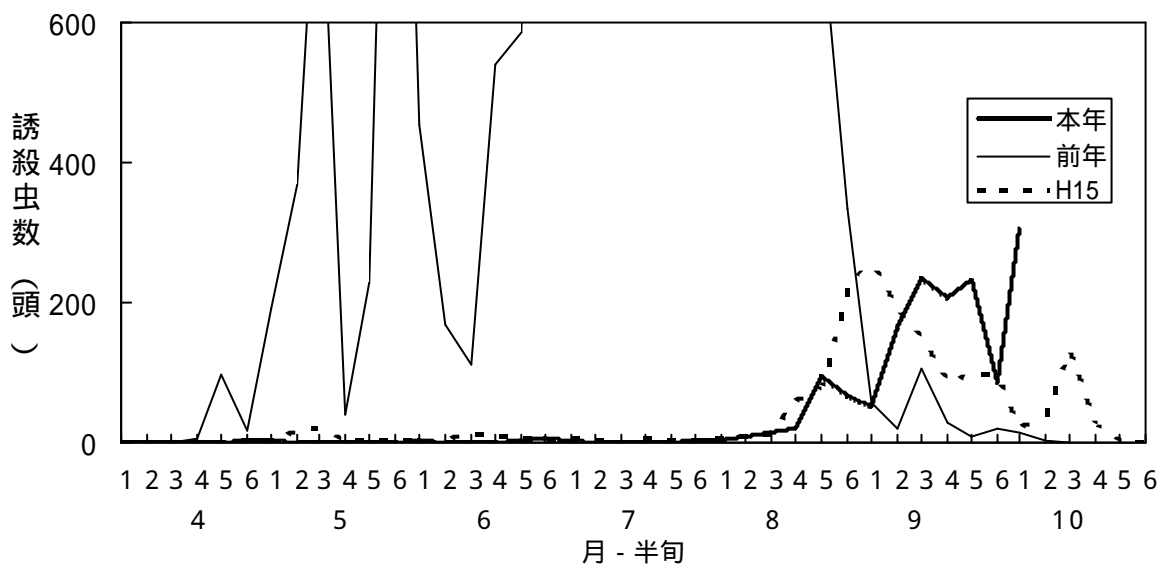
平成17年度病害虫発生予察注意報第3号

- 1 対象作物 果樹全般
- 2 病害虫名 果樹カメムシ類
- 3 発生地域 県内全域
- 4 発生程度 多い
- 5 発生状況等
 - (1) 10月2半旬調査の結果、ヒノキ球果1果当たり口針鞘数は平均18.0本(15年:13.9本、(15年は本年と発生が類似))となっている(別表参照)。一部の地域ではヒノキから成虫が離脱するとされている25本を超えている。
 - (2) 予察灯等での誘殺虫数
 - ア チャバネアオカメムシ
9月1半旬~10月1半旬までの予察灯(県内6カ所平均、以下同じ)での誘殺虫数は、1,270頭(前年:250頭、15年:895頭)で、一部の地域では急増している(グラフ参照)。集合フェロモントラップ(筑紫野市吉木、以下同じ)での誘殺虫数は、40頭(前年:916頭、15年:77頭)であった。
 - イ ツヤアオカメムシ
同時期の予察灯での誘殺虫数は、55頭(前年:29頭、15年:237頭)、集合フェロモントラップでの誘殺虫数は、1頭(前年:14頭、15年:7頭)であった。
 - (3) 本年はヒノキの球果量が多く、山林内でのカメムシ類の発生量は多いと予想され、また、10月の気温は平年より高く推移しており、今後果樹園への飛来が予想されるので、発生に十分注意する。

6 防除上注意すべき事項等

- (1) 一部の地域では口針鞘数が25本を超えており、その他の地域でも果樹園への飛来が予想されるので、園内をよく観察し、発生を認めたら直ちに防除を行う。
- (2) 山林の周辺や例年発生が多い果樹園では今後の発生に十分注意する。
- (3) カメムシ類は、夜行性であるが夜温が下がると昼間も移動し果実を吸汁加害するので飛来に注意する。
- (4) 薬剤散布は農薬使用基準（収穫前日数・使用回数等）を必ず遵守する。
- (5) 果樹カメムシ類の発生状況は病害虫防除所ホームページに掲載しているので参照する。

グラフ



チャバネアオカメムシの予察灯による誘殺虫数の推移 (県内6カ所の平均)

別表 ヒノキ球果における口針鞘数 10月2半旬

調査場所	ヒノキ球果	
	被害球果率 (%)	口針鞘数 (本)
前原町高祖	95	16.9
古賀市青柳	90	11.2
宗像市山田	95	36.4
宗像市野坂	70	5.2
宗像市池田	95	40.2
庄内町入水	50	1.3
甘木市柿原	100	14.0
甘木市屋形原	100	31.7
甘木市三奈木	95	14.7
朝倉町宮野	100	31.3
朝倉町須川	85	5.0
杷木町志波	100	18.7
うきは市浮羽町小塩	100	33.3
久留米市田主丸町益生田	100	24.1
大牟田市上内	100	19.5
山川町立山	100	28.6
立花町飛形山 1	100	44.7
立花町飛形山 2	100	36.4
黒木町野田山	100	14.3
黒木町今	100	24.8
黒木町本分	100	19.5
広川町梯	100	35.6
八女市宅間田	100	18.0
岡垣町高倉	87	6.9
岡垣町上畑	77	7.8
岡垣町戸切	90	8.0
犀川町木山 1	97	11.4
犀川町木山 2	90	8.9
築城町本庄	17	0.4
築城町櫟原	40	2.4
築城町寒田	37	1.2
大平村唐原	73	3.0
平均	87	18.0

注) 口針鞘数：1地点当たり30球果の平均